

前回会議で議論した内容と検討項目

【諮問事項】 「健康長寿のまち」の実現に向けた高齢者の就労促進について－行政サービスの担い手としての高齢者－



【前回の会議内容】－主なご意見－

○就労機会の創出

- ・行政サービス（市業務）の中での就労（水準の明確化をした上での仕事の切り出し、民間委託の推進を通じた高齢者の就労機会の増加…）
- ・地域社会における就労（町内会や自治会、まちづくり事業…）

○プラットフォームのあり方

- ・働きたい高齢者と就労の場のマッチング（IT時代を踏まえたクラウドソーシング ※1 のような仕組み、キャリアを持った管理職をベンチャーや中小企業等に紹介するシステムの構築…）

※1 Webサイト上で不特定多数の人々に業務を委託（仕事を依頼）する新しい雇用形態の一種

○高齢者の就労意欲

- ・就労と公的年金の関係を踏まえて市ができる取組の検討（就労の動機付けに繋がるような仕組みづくり）
- ・年金生活を前提とした価値観・意識の変革（将来を見据えたパラレルキャリア ※2 形成への支援…）

※2 本業を持ちながらそれ以外の仕事や非営利活動への参加などを行い、第2のキャリアを築くこと。



【本日の検討項目】

○就労機会の創出について－市の業務における仕事の切り出しを中心に－

前回の意見のまとめと追加意見の検討 → **資料1の内容の確認**

○就労促進に関するプラットフォームに求められる機能について

プラットフォームにどのような役割を期待するのか、また、市はどのようにコミットしていくべきか？ → **資料2を基に検討**

○高齢者の就労意欲を高める取組について

高齢者の就労意欲を高めるために、どのような取組が考えられるのか？

（就労による公的年金額の調整、健康の維持（医療費・介護費との関係）、生きがい・社会参加などを踏まえた検討） → **資料を参考に意見交換**